

病防第46号
平成20年6月27日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

早期水稲地帯における斑点米カメムシ類の発生状況（技術情報第4号）について
（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、参考資料としてご活用下さい。
記

1 斑点米カメムシ類の発生状況

2008年6月上～中旬に上天草市松島町で行ったすくい取り調査（植生：イタリアンライグラス及びイネ科雑草）の結果、ミナミアオカメムシ、ホソハリカメムシ及びシラホシカメムシの発生は平年並であった。アカスジカスミカメ及び最重要種であるクモヘリカメムシは平年より少ない発生であった（別紙）。

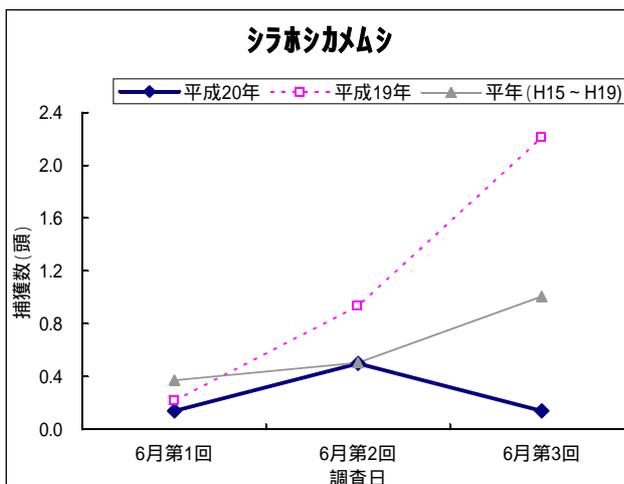
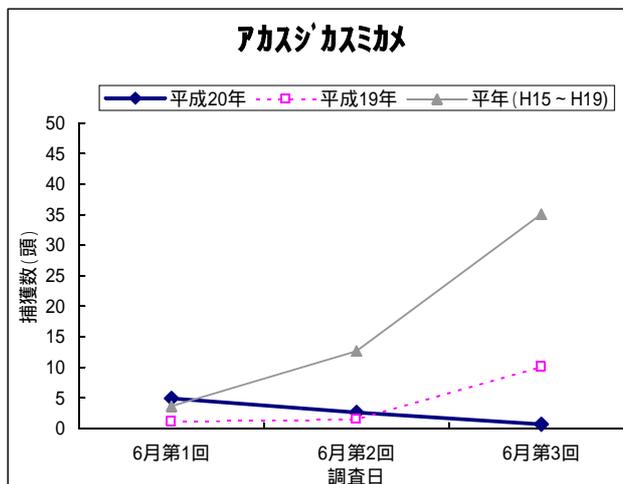
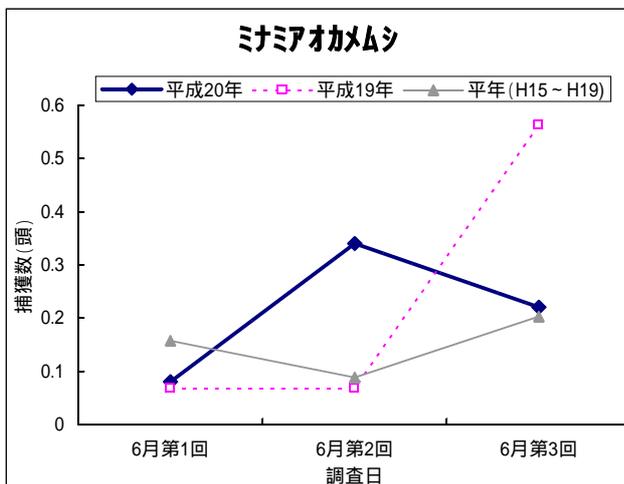
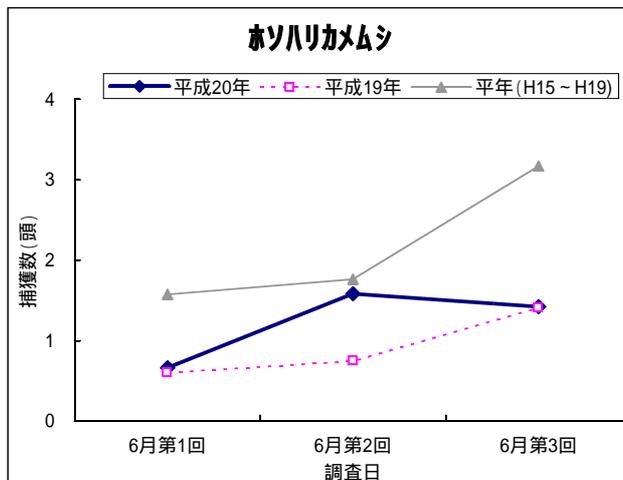
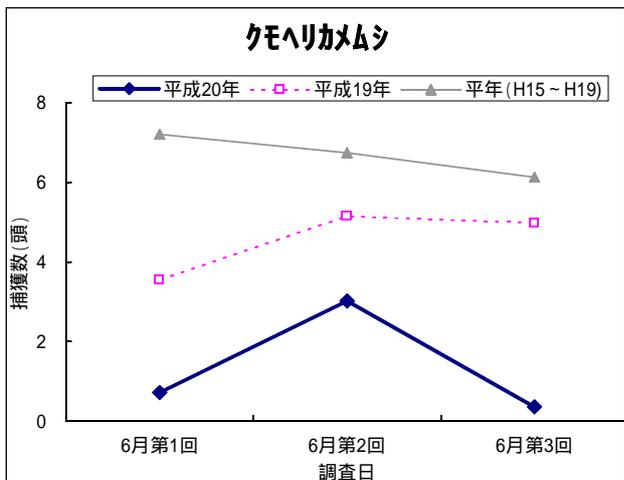
2 防除対策

- （1）出穂期に畦畔雑草や水稲で成虫を見かけたら、水稲の穂揃い期に防除を行う。また、発生が多い場合は、さらにその7～10日後の追加防除を行う。
- （2）斑点米カメムシ類の加害は低密度でも品質に影響を与えるので（出穂期のクモヘリカメムシの密度が1～2頭/100m²を超えると斑点米率は0.1%以上となる）、出穂期に成虫を見かけたら防除を徹底する。
- （3）カメムシ類は広範囲に移動するため、広域で一斉防除を行うと効果が高い。
- （4）水稲出穂後における周辺雑草の除草は、本田への飛来を助長するため行わない。
- （5）農薬の使用にあたっては使用基準を遵守し、周辺環境等へ飛散のないよう注意する。

熊本県農業研究センター生産環境研究所
病害虫研究室予察指導係（病害虫防除所）
作 本 tel 096-248-6490

(別紙)

すくい取り調査でのカメムシ類成虫捕獲数(上天草市、イタリアン・イネ科雑草、10回振り平均)



注) 調査日

6月第1回 : 6/1 ~ 6/5間の調査

6月第2回 : 6/9 ~ 6/12間の調査

6月第3回 : 6/13 ~ 6/20間の調査